

## 業界最高レベル無線認証システムの新製品発表

自動ドア及びスパイラルドアのセキュリティ認証システムとして「無線認証鍵システム らく<sup>2</sup>パス（らくらくパス）」を岩崎通信機の持つ技術をベースに共同で企画、商品化し、2011年2月1日より発売となりました。

自動ドア業界で初めての「利用者が音と光で認証を確認できる」、ハンズフリーでの通行が可能な「無線認証システム」です。

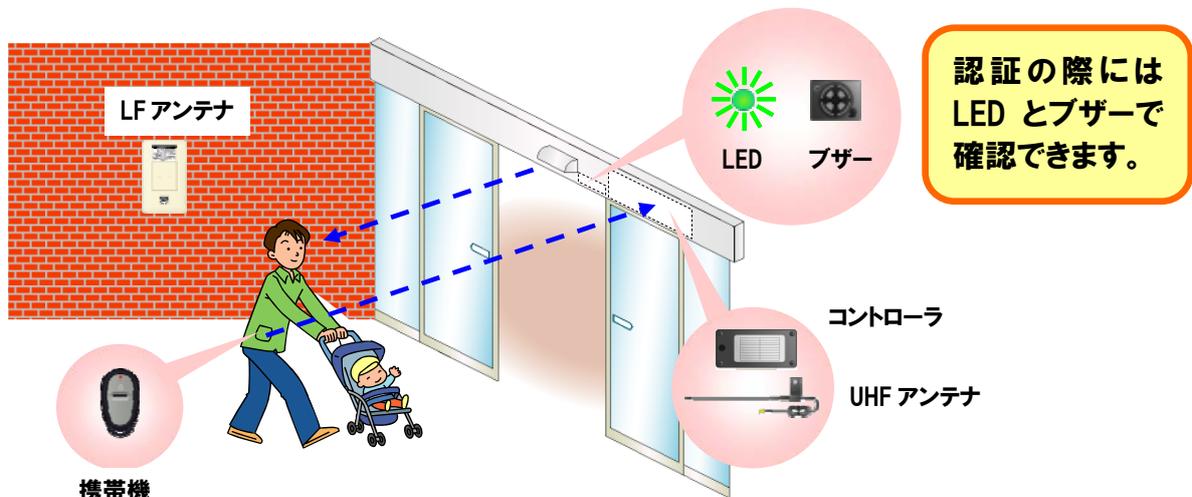
### 【業界初の特徴】

- ・ LF電波と UHF電波（特定小電力）の2種類の電波を採用
- ・ 近接給電時を含むあらゆる無線通信での暗号化を実現（電池切れでも安心）
- ・ 自動ドアのエンジンケース内に設置可能な小型コントローラを実現

### 【概要】

携帯機を所持した人が自動ドアに近づくだけで無線の認証を行い、携帯機をかざさずに自動ドアを通過できる最新のセキュリティ認証システムです。

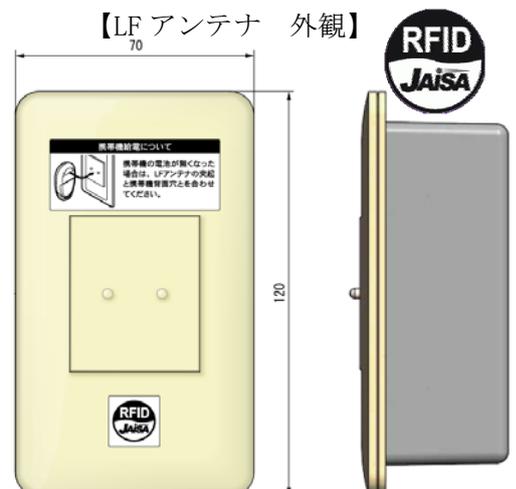
幅広い利用シーンでご利用いただけるよう、類似製品とくらべてもコストダウンをはかり、お求め易いご提供価格を実現しております。（ナブコシステム(株)調べ）



【携帯機 外観】



【LF アンテナ 外観】



## 【特 長】

### ① 利便性

携帯機をポケットや鞆に入れてドアに近づくだけで、自動ドアの通行が可能です。両手が塞がっていても認証できるので、利便性が大幅に向上します。お年寄りや子供でも楽に認証が可能です。また、1個の携帯機でエントランスの自動ドアや駐車場等の複数の鍵を解錠することが可能。複数の鍵を持ち歩く煩わしさが無くなります。

### ② 3つのモード

用途に合わせて、「スマートモード」「オートモード」「リモコンモード」の3種類の使い方を選択することができます。

- ・スマートモード：コントローラが自動ドアの外部センサー等からトリガ信号を受けて認証を行います。
- ・オートモード：コントローラが設定した間隔で電波を送信し、認証を行います。手動の開き扉等に近づくだけで認証し、ドアのロックは解錠されて通行できる様になります。
- ・リモコンモード：携帯機のボタンを押して、車内からでもゲートを開けられます。特定小電力無線の採用により、使い勝手は他社製品に比べて格段に向上しております。

### ③ 携帯機の電池消耗の抑制

携帯機は、LFアンテナで設定される認証エリア内でのみ動作しますので、携帯機の電池の消耗を軽減します。

万が一電池切れが起きても、携帯機をLFアンテナに近接することで、自動ドア等を通行可能にする為の認証を行うことができます。

### ④ セキュリティ性

周波数帯の異なる2種類の電波利用により、傍受の危険性が低減されるほかコントローラと携帯機間は独自の暗号化（チャレンジアンドレスポンス方式等）により、高度なセキュリティ性を発揮します。

さらに、イモビライザーを含めた他社従来製品が、近接給電時にはLF電波1波のみで通信を行うのに対し、本システムは、近接給電時にも通常時と同じ2種類の電波を使った通信を行うことで、セキュリティ性を保持します。

## 【運用場所イメージ】

1. マンション等の集合住宅では、駐車場や共用部の各種出入口でのセキュリティをはじめ、集合玄関機や宅配ボックス・エレベーター等の機器との連携を図っての運用ができます。
2. オフィスビルや商業施設等では、入退室管理・勤怠管理等の各種アプリケーションとの連携及び、共用エントランスのほか、個別オートロック式ドアへの運用ができます。
3. 倉庫・工場内では、フォークリフト等への携帯機の搭載により、倉庫・工場内での作業効率とセキュリティの向上を実現するほか、病院や介護施設における徘徊対策や入室制限などのセキュリティの向上を実現しての運用ができます。

## 【販売価格】

- ・らく<sup>2</sup>パス システム価格：約 200 万円  
(携帯機：100 個 1.3 万円/個、コントローラ：2セット 24 万円/セット)